



## 「ストレスチェック」導入ガイドブック

著者：増田将史 監修：石井妙子 発行：経団連出版 定価：(1,200円+税)

2014年6月に公布された改正労働安全衛生法により、事業者は労働者のストレスチェックと面接指導の実施等を義務づける制度が創設され、2015年12月に施行された。本制度はメンタルヘルス不調者の新規発生の抑制という一次予防の施策として期待される一方、かなり複雑な制度であり、「労働安全衛生法に基づくストレスチェック制度実施マニュアル」は170ページに及ぶほどである。私自身企業内で共同実施者として本制度の準備に携わる中で、大枠は理解していても、運用の細目を決める作業ではどこに何が書いてあるかを探すのは容易ではなかった。

本書はQ&A方式を採用し、これ一冊で本制度に携わる者の疑問・質問に的確に答えた上で、どの法令、指針、マニュアルに立ち返ればいいのかを整理されている。また、運用上の留意点として、例えば「事業者からの受検勧奨は1回にとどめ、2回目以降は実施者が行う」などかなり具体的な対応方法も示している。さらに、著者は豊富な産業医経験から洞察される運用上の課題を積極的に提起し、それらが各検討会等でどのように議論されたかについて示している。本書は、ストレスチェック制度を実りある対策にしたすべての者にとって有意義な一冊となるであろう。

宋 裕姫(日産自動車株式会社  
メンタルヘルス統括産業医)



## 嘱託産業医のための ストレスチェック実務 Q&A

編者：ストレスチェック実務Q&A編集委員会 発行：産業医学振興財団 定価：(2,200円+税)

Q&A方式で編集されている本書の特徴は、71問あるQの内容がとにかく卓越していることである。

例えば「産業医に丸投げされそうで困っています。会社主導の取組みに誘導する方法はありますか(Q5)」「月1回の事業場訪問なので面接指導の実施までに時間がかかっても問題はないでしょうか?(Q52)」「高ストレス者が面接指導を申し出なかった場合、産業医として不作為責任は生じますか(Q20)」など、嘱託産業医が現場で遭遇しそうな状況や不安が忠実に再現されており、それらQに対するAも実務的発想に基づいて丁寧に解説されている。また、「産業医が実施者(共同実施者)になった場合、事業者との間の契約はどのように結べば良いでしょうか(Q21)」など、他の資料や書籍では見られない嘱託産

業医特有の課題にも数多く触れられており、現場経験豊かな嘱託産業医や弁護士を著者・編集者に迎えた本書の質の高さが頷ける。膨大な行政資料をくまなく調べて要所をつなぎ合わせるような作業は最早必要はなく、本書の目次にあるQを見れば疑義はおおむね解消するであろう。また、巻末にはセルフカスタマイズ可能な報告書様式が格納されたDVDを添付しており、時間的余力の少ない嘱託産業医には歓迎される試みである。

本書は嘱託産業医だけではなく、嘱託産業医を雇用する中小規模事業場の衛生管理者や担当者にとっても有用な書であり、ストレスチェック制度の導入に際して事業場と産業医間の共通理解を深めるとともに、両者の架け橋になる機会をも与える一冊である。

山本健也(東京大学環境安全本部 助教/産業医)